図書館かがわ

香川県立図書館報　第98号

発行日　2013.1.1

Library Kagawa

ISSN 1344-5464

図書館一日司書として
任命書を渡しました。

書庫には閲覧室（１階）の
約３倍（６８万冊）の本が
あります。

「キッズ図書館たんけんツアー」を開催しました。

平成２４年１１月３日（土・祝）、事前に応募いただいた小学生（２３名）のみなさんが、本の貸出・返却作業の体験や、普段は入ることのできない、書庫の見学をしました。

カウンターで、実際に、利用者から本を受取り、バーコードをなぞる様子は、少し緊張しているようでしたが、一つ一つ丁寧に、熱心に取り組んでくれていました。また、書庫では、江戸時代の古い資料を見たり、可動式の書架を自分たちで動かしたり、新鮮な驚きの声が上がっていました。

参加した子どもたちからは、「おもしろかった～。」「楽しかった！」という感想を、たくさんいただきました。

「何がでっきょんなー？」②
図書館大会～香川県図書館協会のお仕事紹介～

１１月３０日（金）、県内の公共図書館１９館から８１名の職員の方が参加して、香川県図書館大会が開催されました。

香川県図書館大会は、県内の公共図書館に勤務する職員の資質向上と相互の連携を深め、図書館活動のさらなる発展に貢献できるよう、香川県図書館協会と香川県立図書館が、平成１３年からほぼ毎年開催しているものです。

今年の大会では、午前中最初に、研究集会報告として、坂出市立大橋記念図書館と綾川町立図書館の方に、参加した「全国図書館大会　島根大会」のもようを報告いただきました。

次に、事例発表として、新しい試みの「ぬいぐるみのおとまり会」について、観音寺市立中央図書館の方にお話いただきました。

また、情報交換の時間では、取り扱いに苦慮する延滞図書資料の扱いや児童、生徒の読書活動を推進するための学校図書館との連携などの課題について、各館の状況を参加者の方から発言いただき、情報の交換を行いました。

午後からは、最近、利用者への提供を開始する図書館があるなど関心が高まっている電子書籍に関して、「図書館と電子書籍－可能性と課題－」とのテーマで、立命館大学文学部教授の常世田良さんに、図書館と電子書籍を取り巻く最新の状況についてご講演いただきました。

報告や講演に熱心に耳を傾けたり、情報交換に積極的に発言するなど、参加者の方の熱心な姿勢が多く見受けられました。

県内の公共図書館１９館から８１名の参加があった香川県図書館大会

研究集会報告

事例発表

情報交換

講演

香川県図書館大会を主催している香川県図書館協会は、県内の公共図書館３０館により構成されていて、香川県図書館大会のほかにも、図書館に初めて勤務したり、経験年数の少ない職員の方を対象とした初任者研修や図書館業務の専門的な知識や技能を学ぶ専門研修、県外で行われる研究集会への派遣研修を実施し、県内公共図書館に勤める職員の方のスキルアップを図っています。

利用者のみなさんには、馴染みのない香川県図書館協会ですが、県内公共図書館の情報交換の場や頼れる図書館員を養成する機会を設けるなど、幅広く活動しています。

中学生・高校生の皆さんへ

心に残る一冊を！

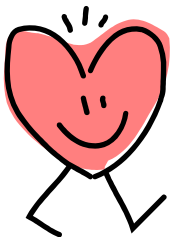
香川県立図書館長　徳田　辰夫

香川県教育委員会が行った平成２４年度の子ども読書活動に関するアンケート調査によると、本を読むことが好き・どちらかといえば好きと答えた子どもの割合は、幼児（３～５歳）９７％、中学生７３％、高校生８０％と思いのほか高い数字になっています。一方、実際に家で週１回以上本を読んでいる子どもの割合は、幼児が８７％であるのに対し、中学生は４１％、高校生は３２％と、大きくなるに従って本を読まなくなる傾向にあります。本を読むのは好きだけど、勉強や部活動が忙しくてなかなか本を読む時間がないという中学生や高校生が多いようです。

自分の中学・高校時代もそうでした。授業と部活動、家に帰ってからする言い訳程度の予習・復習。その繰り返しで毎日が過ぎていき、そのうち受験勉強。今振り返って見ると、いつも何かに追われているようでゆっくり読書を楽しむ心のゆとりもなかったように思います。そんな暮らしの反動が出たのか、大学に入ってからは心のすきまを埋めるように本を読みました。幸い大学の周辺には古本屋がいっぱいあり、貧乏学生でも読みたい本をいつでも手に入れることができました。

大学に入って一番最初に手にした本は島崎藤村の詩集でした。当時私は失恋したばかりだったので、「初恋」の中で恋の続きを夢見ていたのかもしれません。人生の節目、節目で思い出に残っている本がありますが、今でもこの詩を読むと、まだ多感だった学生時代の切ない思い出がよみがえってきます。

近年、若者の読書離れが進んでいると言われています。県立図書館では、中学生や高校生にもっと本を読んでもらうため、中・高校生に読んで欲しい本や、興味・関心の深い本などをそろえた「ＹＧ（Ｙoung　Ｇeneration）コーナー」を設けています。学校生活や私生活で悩んだり迷ったりしたときは、図書館に来て本を手にとってみませんか。あなたを支え、勇気づけてくれる一冊の本にめぐり合えるかもしれません。



Young Generationコーナー

子育て支援コーナー開設5周年記念「のびのび♡子育てタイム」を開催しました。

１１月２４日（土）、子育て支援コーナー開設５周年記念「のびのび♡子育てタイム」を開催しました。当日は、８名の方にご参加いただき、お子さんを託児ボランティアの方に預けた後、ストレッチとおしゃべりを楽しみました。

まず「からだのびのび！ストレッチタイム」では、健康運動指導士の山下結実子さんに、肩こりや腰痛を解消し、リフレッシュできるストレッチを教えていただきました。

次に、「こころスッキリ！おしゃべりタイム」では、香川県教育委員会家庭教育カウンセラー、子育てネットワーク・かがわ代表の荒谷節子さんが、子育て中のお母さんの心をほぐす、リラックスしたおしゃべりの場を作ってくださいました。

参加者の皆さんには、少しの間子どもと離れて、自分の体と心に向き合う、貴重な時間を過ごしていただけたようです。

子育て支援コーナーでは、これからも多くの図書・雑誌等をそろえ、子育てをバックアップしていきます。どうぞご利用ください！

「高校生のための図書館講座」を開催しました。

１２月２６日（水）に、県内高等学校の図書委員および図書館業務に興味のある高校生を対象に、図書館業務の基本的知識や技術への理解を深め、習得してもらうことにより、各校での図書館活動の活性化を支援することを目的として、「高校生のための図書館講座」を開催しました。高松市内のみならず坂出、善通寺、観音寺、小豆島と県内各地から男女あわせて２４名の高校生が参加してくれました。

図書館の仕事についての講義の後、館内見学、実習を行いました。実習は他校の生徒同士でグループに分かれて、カウンターでの貸出、返却本の配架、図書の装備やＰＯＰの作成を行いました。磁気テープを入れたり、フィルムカバーをかけたりと、普段あまりすることのない作業に少々悪戦苦闘しているようでした。ＰＯＰの作成では、時間が足りなくなるほど熱心に取り組み、力作ぞろいのＰＯＰが出来上がりました。また、司書という職業について職員に質問をしたり、他校の活動事例などを聞いたりと活発な交流がなされました。

この講座で学んだことを、今後の活動に少しでも活用してもらえることを期待しています。

編集・発行　香川県立図書館
〒761-0393　**高松市林町**2217-19**（香川インテリジェントパーク内）**
TEL 087-868-0567　　FAX　087-868-0607
http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/